



センター試験まで、あと〇〇日…

進路室前にあるセンター試験までの日めくりカレンダーの残り日数が、二桁になりました。そして、今年も残すところ、あと2ヶ月です。良い意味での緊張感を持ちながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。この11月は皆にとって正念場ですが、皆で一つになって苦しい場面を乗り越えましょう。

自分の力を信じる

「あと〇〇日」という言葉に、これからさらに敏感になることと思います。「あと〇〇日しかない」と考えるのではなく、「〇〇日で出来ることを最大限に取り組む」と考えてほしいと思います。皆さんの可能性は、これからさらに広げられるものと信じています。受験に対して不安な気持ちを抱くことは、皆一緒です。マイナス面の思い込みこそが、自分の成長を止めてしまう原因となると思います。自分の力を信じて、一步一步前進あるのみです。

定試・模試から自分の課題を把握する

11月はマーク模試に始まり、第3回定試で終わります。模試の出題は全範囲に広がるため、思い通りに行かないことも考えられます。結果が出る度に一喜一憂するのですが、そこで嘆いていても何も変わりません。自分の課題を分析し、自分の弱点を強化することが大切だと思います。

学校での日々を大切に

普段、当たり前だと思う日常を保つことも大切だと思います。学校生活の一日一日、日々の授業、一緒に過ごす仲間…。学校生活の中での日常には、皆さんを成長させるチャンスがたくさんあるのです。自分一人ではなく、仲間とともに受験に向かうことを忘れてはなりません。教室は皆さんにとって学習の場であり、憩いの場であり、そして、仲間とともにお互いを高め合う場であると思います。

「受験」は合否という結果だけでなく、そこに向かっていく過程が大切であると感じます。悩んだり、苦しんだりすることもあると思いますが、これも皆さんが成長する上での試練であり、チャンスであると強く思います。「チーム3年」「チーム西高」力を合わせて「受験」に向かって行きましょう。

3年次主任 小林 健

保護者のみなさまへ

10月10日 健康の森ウォーキング大会

本年は天候にも恵まれ、健康の森ウォーキング大会を無事に終えることができました。今年から10位以上が表彰されるということで最後の行事に全力で取り組んだ人、移りゆく季節を感じながら自然を満喫した人、仲間と語り合いながら歩いた人…。生徒たちのいろいろな表情を見ることができました。コース上で御協力くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

来月には私立大学出願の準備です

さて、10月にセンター試験の出願が終了し、確認書が届きました。これから、併願校の受験を含めた、具体的な受験計画を立て始める時期となりますが、引き続き、御家庭で話し合いをする機会を持っていただきたいと思います。その際、模試のデータ個票を参考にされると思いますが、合否判定だけにとらわれることなく、様々な視点からの検討をお願いします。悔いのない受験のためには、最後まで志望校を安易に諦めることなく、自分の力を知る上で日々の努力の積み重ねを大切にしてほしいと思います。学校では12月の二者面談などを利用してアドバイスをいたしますが、必要に応じて三者懇談をすることもできますので、お気軽に担任まで申し出てください。



11月行事予定～今月から、最終下校時刻は18：30です（冬時間になりました）～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	木	A	冬服期間(～4/30)	16	金	A	短縮50分授業 大掃除(ストーブ点検)・校外清掃 生徒協議会
2	金	A	第2回PTA理事会 ベネッセ・駿台共催マーク模試	17	土		土曜講座
3	土		文化の日 ベネッセ・駿台共催マーク模試	18	日		
4	日			19	月	B	きずなの日 第3回定期試験時間割発表
5	月	B	きずなの日	20	火		県民の日 科学探究プログラム
6	火	B		21	水	B	
7	水	B		22	木	B	
8	木	B	第39回山梨県高等学校芸術文化祭ハレト・グラウンドステージ	23	金		勤労感謝の日
9	金	B		24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月	B	
12	月	A		27	火	行	第3回定期試験
13	火	A	あいさつ運動(～11/16)	28	水	行	第3回定期試験
14	水	A	第4回マナーアップ運動	29	木	行	第3回定期試験
15	木	A		30	金	行	第3回定期試験 全統プレテスト

◎今回は、4組副担任の島田すみれ先生の寄稿を掲載します。

「自信を持つこと」は「自分を信じること」

「自信を持ちなさい」と言われたときに、『自信』って何だろうと思ったことがあります。「自信を持つこと」が文字通り「自分を信じること」だと強く感じたのは、ちょうど君たちと同じ高校生の頃でした。

高校生活最後の大会のことです。私は後輩とダブルスを組み、シード校と対決するところまで順調に勝ち進みました。そして、いざ対戦相手を見ると、対戦相手は2人とも下級生だったのです。「私の夏は下級生に負けて終わってしまうのか——」そう考えたときに頭をよぎったのは、「対戦相手やパートナーと私の1年の『差』は何だったんだろう」ということです。彼女たちよりも1年長く厳しい練習に耐えた、あの日々は結局無駄だったのか——いや、無駄なわけがない。対戦相手やパートナーがまだ経験していない1年間を、私はすでに経験している。彼女たちがまだ得ていないものを私は得ているはず——そう思ったときに、『自信を持つ』ってこういうことなのか！と感じました。

しかし、簡単には「自信を持つこと」はできません。「私は頑張った」「努力した」という自覚や経験があってこそ、「自分を信じること」ができるのではないのでしょうか。自信のないそのあなた！まずは「頑張った」「努力した」という自覚や経験を積み重ねましょう。「私は頑張っているのかな」「努力しているのかな」と不安になる必要はありません。「頑張り」や「努力」のものさしは自分自身で決めるもの。あなたが「頑張った」「努力した」と思うことができればそれでいいのです。



この時期になると、色々不安なことが出てくると思います。そんなときには胸に手を当てて、今まで頑張ってきたこと、努力してきたことを思い出してみましょう。——少しは自信が持てましたか？それでも不安な人は、君たちの頑張りやそばで見ている人がたくさんいることを思い出してください。その人たちはもちろん、あなたのことをきくと信じてくれていますよ。

受験は「戦」です。「自信」という鎧を着て、胸を張って出陣しよう！